

東臼杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和6年1月 東臼杵農林振興局
（東臼杵南部農業改良普及センター）

目次

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き（P 2～4）

- 1) 【全域】JA日向合併50周年記念式典が開催
- 2) 【全域】1月セリ市が開催
- 3) 【全域】JA日向育苗センターの早期水稻播種検討会が開催
- 4) 【日向市】日向市養豚部会研修会が開催
- 5) 【門川町】門川町ブロイラー農家の埋却予定地を現地確認
- 6) 【美郷町】柳田三男氏が宮崎日日新聞農業技術賞を受賞
- 7) 【全域】東臼杵地区花き展示会が開催
- 8) 【日向市、諸塚村、美郷町】完熟きんかん出荷目揃え会が開催
- 9) 【椎葉村】椎葉村園芸部会役員会が開催

II 主な普及指導活動等の取組み（P 5～8）

1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動

- 1) 【日向市】農業経営改善計画の認定審査会が開催
- 2) 【門川町】農業経営改善計画の認定審査会が開催
- 3) 【美郷町】美郷町農業振興対策協議会が開催
- 4) 【美郷町】農業経営サポート事業の活用による専門家指導を実施
- 5) 【美郷町】きんかん承継体制の検討会を実施
- 6) 【県外】担い手対策部会が先進事例視察を実施
- 7) 【椎葉村】椎葉村新規就農者に係る会議が開催
- 8) 【美郷町】加工グループ検討会を実施
- 9) 【諸塚村】もろつかウーロン茶研究会が開催
- 10) 【美郷町】鬼神野地区への支援に向け外部リーダ会を開催
- 11) 【諸塚村】集落営農法人えしろR5年産養液栽培実績検討会を開催
- 12) 【日向市、門川町】冬春ミニトマト営振協展示ほ調査を実施
- 13) 【日向市・門川町】JA日向平兵衛酢部会産地戦略ビジョン全体会が開催
- 14) 【椎葉村】技術員会で産地ビジョン検討会の検討を実施

2 プロジェクト（基本、専門、重点）以外の普及活動（P 9～11）

- 1) 【門川町】鳥獣被害対策に係る研修会の開催
- 2) 【管外】日向・東臼杵農山村女性会議が県域交流会に参加
- 3) 営振協「除草剤効果実証試験」における残草調査を実施
- 4) 【美郷町】JA日向ひむか米振興会北郷支部実績検討会が開催
- 5) 【日向市・門川町・美郷町】冬春きゅうり戸別巡回が開催
- 6) 【日向市・門川町・美郷町】スナックえんどうの資材講習会が開催
- 7) 【諸塚村】夏秋ミニトマトのR6年産作付け前面談を実施
- 8) 【日向市、諸塚村、美郷町】きんかん海外市場調査を実施

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1) 【全域】 J A日向合併50周年記念式典が開催

19日、J A日向会館で、県内初の広域合併から50年となる記念式典が開催されました。

式典では、歴代組合長への功労者表彰、J A日向のこれまでの歩み、宮崎大学の土屋准教授による基調講演が行われました。

来年4月には、県域J Aとしてスタートする新たな時代を迎える転換期となりますが、これまでと同様、農家に寄り添った活動となるよう、連携して行きたいと思えます。



【農林振興局長の祝辞】

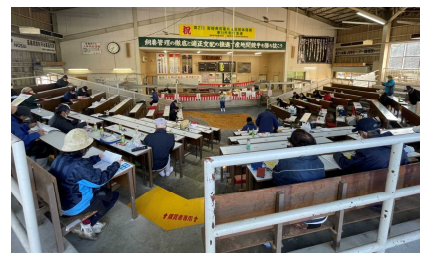
2) 【全域】 1月セリ市が開催

24～25日、東臼杵郡市家畜市場で子牛の1月期セリ市が開催され、雌278頭、去勢289頭、合計567頭（管内：雌194頭、去勢192頭、計386頭）が取引されました。

平均価格は雌492千円、去勢561千円、（管内：雌507千円、去勢553千円）で、前回セリ価格と比べ、雌は12千円増、去勢は18千円増（管内：雌22千円増、去勢11千円増）となりました。

購買者はいつもよりも多く、前回セリよりも価格は上昇しました。

また、今回からセリ前研修会が再開され、延岡家畜衛生所から家畜防疫の重要性について説明があり、生産者も改めて防疫意識が高まった様子でした。



【セリ前の研修会】

3) 【全域】 J A日向育苗センターの早期水稻播種検討会が開催

29日、令和6年産J A育苗センター早期水稻播種計画に係る検討会が開かれました。各品種の播種作業のスケジュールや出荷開始予定日等について、協議が行われました。

令和6年産早期水稻の苗注文は、昨年と同等の注文数が見込まれており、2月23日から播種作業が始まり、苗出荷は3月23日に開始予定です。

今回の検討を踏まえ、良質な苗供給を支援していきます。

4) 【日向市】 日向市養豚部会研修会が開催

17日、日向市養豚部会研修会が開催され、部会員6名と関係機関3名が参加しました。

研修会では、経済連から夏場の暑熱対策に関する繁殖農場におけるデモ試験の結果報告、及び子豚の事故率を防ぐための寒冷対策について講義がありました。

生産性向上のため、熱心に講義を聞いていました。



【経済連の説明】

5) 【門川町】 門川町ブロイラー農家の埋却予定地を現地確認

9日、門川町のブロイラー農家の埋却予定地現地確認を関係機関で行いました。埋却地の面積や立地、作業スペースの確保状況等について、実際に発生した時の作業の動線を想定しながら確認しました。

2月は家畜防疫強化月間となっており、さらに防疫体制の徹底と万が一に備えた初動体制の準備を行っていきます。



【現地の候補地確認】

6) 【美郷町】 柳田三男氏が宮崎日日新聞農業技術賞を受賞

19日、宮崎市の宮日会館で宮崎日日新聞農業技術賞の贈呈式が開催され、管内からは美郷町でスイートピーを栽培している柳田三男氏が個人の部で受賞されました。

柳田氏は、平成7年に夫婦でスイートピー生産を開始、生産に手応えを感じ始めた平成12年にJAを退職、53歳で就農されました。栽培中は、徹底した草勢管理と夫婦で計画的な適期作業に取り組まれており、商品化率の高い安定生産体制を確立しています。

また、高温対策はもとより、日持ち性やオリジナル性の高い品種を導入され、高収益経営を行うとともに、他部会員への技術波及や新規栽培者への指導・助言など、スイートピー産地の育成に大きく貢献されたことが評価され、今回の受賞に至りました。



【表彰状の贈呈】



【前列、左端が柳田氏】

7) 【全域】 東臼杵地区花き展示会が開催

17～19日、日向市駅構内において東臼杵地区花き展示会が開催されました。展示会には、東臼杵管内の生産者からスイートピー、ユリ、ランタンキュラスなど計43点の花きが出展され、日向市駅利用者や来場者など多くの方に管内の花を楽しんでいただきました。

また、展示会場には栽培管理のパネルや栽培者募集チラシ等を設置し、産地のPRを行いました。

展示会終了後には、来場者の方に展示品の無償配布を行い、ご自宅でも管内の花きに親しんでいただくことができました。



【JRでの花き展示】

8) 【日向市、諸塚村、美郷町】完熟きんかん出荷目揃え会が開催

10日、J A日向西郷支店において、生産者20名程度、関係者4名が参加し、出荷目揃え会が開催されました。

J Aから出荷規格や選果場持込時の留意点について説明が行われ、その後、参加した生産者全員が実際の果実を見ながら選果基準の確認を行いました。

また生産者の協議の結果、今年は県外での販促活動や地元直売所での直売イベントの実施が決定されました。

普及センターからは、かん水や日中の温度管理等の当面の管理について説明を行いました。

管内では1月11日から選果が始まっており、2月以降に出荷量の増加が見込まれます。



【初日の出荷状況】

9) 【椎葉村】椎葉村園芸部会役員会が開催

29日、J A日向椎葉支店において、椎葉村園芸部会役員会が開催され、役員6名、関係者5名が出席しました。

会では、定例総会の開催や次年度活動計画等に関する協議が行われました。

定例総会は2月27日、次年度計画では先進地視察や販促活動を積極的に実施することとなりました。

椎葉駐在からは、ほうれん草専門部に向けての産地ビジョンの支援状況について説明し、情報共有を図ったところ、ほうれん草専門部の役員からは、前向きに取り組む意向が示されました。



【総会での熱心な協議】

II 主な普及指導活動等の取組み

1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動

1) 【日向市】農業経営改善計画の認定審査会が開催

26日、日向市役所にて、認定農業者の農業経営改善計画認定審査会が開催され、新規1件（園芸1件）と更新3件（園芸3件）の審査があり、全て承認されました。

2) 【門川町】農業経営改善計画の認定審査会が開催

25日、門川町役場にて、認定農業者の農業経営改善計画認定審査会が開催され、新規1件（畜産）の審査があり、承認されました。

今回の審査は、認定新規就農者から認定農業者へのステップアップの審査となり、今後地域農業を担う中心的経営体としての活躍が期待されます。

3) 【美郷町】美郷町農業振興対策協議会が開催

15日、美郷町役場にて、認定農業者の農業経営改善計画について、新規1件（園芸）と更新2件（畜産1件、園芸1件）の計画策定に係る個別ヒアリングが行われ、後日書面審査にて全て承認されました。

4) 【美郷町】農業経営サポート事業の活用による専門家指導を実施

9日に美郷町の農家（畜産）1戸が農業経営サポート事業を活用し、専門家による指導を受けました。

今回の相談は雇用に関する内容で、労働保険（労災保険や雇用保険）の説明や加入手続き、法定三帳簿等の作成に係る助言・指導が行われました。助言を受けた農家からは「大変参考になった」という声が聞かれ、今後雇用をする際の具体的な手続きについて理解を深めることができました。

当事業は経営改善や事業承継、法人化相談等、経営に係る課題について専門家（税理士や弁護士及び社会保険労務士等）からの助言・指導を受けられる内容となっています。

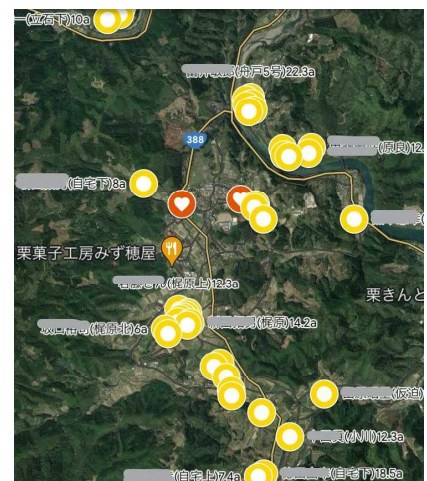
相談は無料で複数回の活用が可能です。お気軽に普及センターまでお問合せください。

5) 【美郷町】きんかん承継体制の検討会を実施

16日に美郷町、JA、普及センターの関係者5名で美郷町のきんかん承継体制について検討しました。

先月の承継意向、資産情報等の調査結果とともに作成した園地マップを共有しました。意見交換では、承継先になりそうな地域内の担い手候補や呼び込みたい担い手像について検討しました。

今後、担い手候補の生産者を交えた意見交換に向け、規模や農地集積に関する意向調査を行うこととなりました。引き続き、関係機関と連携して円滑な承継体制づくりを行っていきます。



【園地マップ】

6) 【県外】 担い手対策部会が先進事例視察を実施

16日から17日、日向地域農業再生協議会担い手対策部会で、福岡県及び大分県へ先進地視察が実施され、関係者10名が参加しました。

福岡県では、行橋市における株式会社ふるさぼ新田原による作業受託及び第三者承継の取組について調査しました。

大分県では、竹田市における久住地域肉用牛定休型ヘルパー組合による作業受託及び地域おこし協力隊による担い手の確保、育成について調査しました。

今回、視察先で調査した事例を整理し、今後も関係機関と連携し、地域の担い手の確保、育成について取組を進めていきます。



【行橋市の継承園地】

7) 【椎葉村】 椎葉村新規就農者に係る会議が開催

12日、新規就農者に係る会議が開催され、研修中を含む新規就農者4名と、関係機関5名が参加しました。

それぞれが、今年の栽培結果を振り返って実績を報告し、次年度に向けた計画や目標を発表しました。

次年度は、栽培実績を踏まえた前向きな目標となり、駐在や関係機関からは適宜質問や助言が行われました。

また、生産者相互に意見交換を行う場面もあり、次作の期待が高まりました。

今後も定期巡回を行いながら、関係機関が一体となり目標実現に向けて支援します。



【熱心な検討】

8) 【美郷町】 加工グループ検討会を実施

31日、美郷町南郷の食品加工場において、グループメンバー2名と普及センター職員1名が参加してレシピについての検討会が実施されました。

検討会では、整備したレシピの内容の最終確認や、今後整備するレシピの商品について検討を実施しました。

今後も、地域の重要な無形資産を承継するために、レシピの整備を進めていきたいと思えます。



【ドレッシング加工】

9) 【諸塚村】 もろつかウーロン茶研究会が開催

18日、もろつかウーロン茶研究会が開催され、先月実施した西臼杵烏龍茶研究会との意見交換会を踏まえ、「清香森茶」の改善点の洗い出しと改善に向けた取組内容の検討が行われました。また、新たな販売戦略の展開として、ティーバッグ商品試作に向け検討が行われました。

今回の研究会を受け、更なる良質商品生産と販路拡大に向け関係機関・団体と連携し支援を行っていきます。

10) 【美郷町】鬼神野地区への支援に向け外部リーダー会を開催

25日、中山間地域直払制度を活用し地区内農地での農業生産等継続に向けた活動に取り組む鬼神野地区に対し、今後の支援の進め方について外部リーダー(役場・JA・東白杵振興局)による意見交換を行いました。

主な協議内容は、地区で4年度導入したドローンの稼働日数拡大に向けた水稻除草剤散布作業への取組み推進法や省力的畦畔雑草管理技術の1つである「抑草ネット」の効果に対する地元役員の評価把握法について意見交換しました。

今回の協議を踏まえ、3月に開催予定の地区役員会の場で提案を行う予定です。



【情報交換する外部リーダー】

11) 【諸塚村】集落営農法人えしろR5年産養液栽培実績検討会を開催

26日、集落営農法人えしろと関係者で、実績検討会を開催しました。集落営農法人えしろは令和4年から夏秋ミニトマトの養液栽培を開始しており、新品目導入によるさらなる経営安定を目指しています。

今回の検討会では、令和5年産の振り返り、令和6年産に向けての収量目標の設定、課題の共有を行いました。

次年度の目標達成に向けて、生産者、JA、普及センターがそれぞれの取り組むべきことを実施していきます。



【実績の検討】

12) 【日向市、門川町】冬春ミニトマト営振協展示ほ調査を実施

11日、日向市、門川町の生産者2ほ場、日向トレーニングセンターにて、営農振興協議会の展示ほ調査が実施されました。

今年度は、良食味品種で管内未導入のMK S-T837(みわた)、アルル、アマイアリー、TYみわくの4品種について現地適応性を調査しています。

今後も調査を続けながら、栽培しやすさ、収量、糖度などの観点から評価し、現地適応性の高い品種を選出します。



【はしごを使って調査】

13) 【日向市・門川町】JA日向平兵衛酢部会産地戦略ビジョン全体会が開催

30日、JA日向本店会議室で、生産者10名、関係者10名が参加し、産地戦略ビジョン全体会が開催されました。

JAから産地戦略ビジョンの目標設定の見直し案について説明が行われ、協議の結果、目標を出荷量175t(JA取扱分は、ハウス15t、露地100t、加工用15t)とすることに決まりました。生産者からは経費が増えて手取りが減っているため、単価を上げてほしいといった意見が出されました。

普及センターからは、産地として出荷量を維持する必要性の説明等を行いました。なお、産地ビジョンの見直し案については、今年3月予定の部会総会に諮る予定です。



【ビジョン全体会】

14) 【椎葉村】技術員会で産地ビジョン検討会の検討を実施

30日、技術員会を開催し、関係機関3名が出席しました。

会では、品目概況や各所属からの情報共有を行った後、産地ビジョンの合意形成に向けた検討を行いました。

椎葉駐在から、ほうれん草専門部に向けて作成したパワーポイントを説明し、グラフの見せ方や検討会の進め方について意見が出されました。

生産者を交えての検討会は2月20日に実施することになり、次年度に向けて策定の合意形成を目指します。

2 プロジェクト（基本、専門）以外の普及活動

1) 【門川町】鳥獣被害対策に係る研修会の開催

12日に西門川活性化センターで、受益者10名が参加して、鳥獣被害対策研修会が開催されました。

農林振興局からは、令和4年度の鳥獣被害の現状について、普及センターからは、集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策について説明しました。

また、県鳥獣被害対策支援センターから、鳥獣被害の要因、鳥獣被害の考え方、鳥獣被害対策の基礎知識、ワイヤーメッシュ柵設置等のポイントについて、町の担当者からは、国の鳥獣被害対策交付金事業の柵設置事業について、確認事項の説明がありました。

現地ほ場では、専門業者を交えて実際にワイヤーメッシュ柵設置の実技研修が行われ、設置方法の説明の後、参加者全員で設置方法を確認しました。

今後は集落で、鳥獣被害対策を推進するため、自分たちで守れる集落づくりを目指し、柵の設置作業を共同で実施する予定です。



【集落での室内研修】



【現地での柵設置】

2) 【管外】日向・東臼杵農山村女性会議が県域交流会に参加

11日に日向・東臼杵農山村女性会議構成員10名、関係者2名が宮崎市佐土原町で開催された宮崎県女性農林漁業者ネットワーク交流会に参加しました。

基調講演では、社員のほとんどが女性である「KIGURUM I. BIZ株式会社」の代表取締役を務める加納ひろみ氏が、実体験をもとに、働く女性・母親が職場に求めていることなどについて話がありました。参加者は女性の雇用環境について考える良い機会となりました。

今後も、引き続き、構成員の資質向上に向けた支援を行っていきます。



【熱心に基調講演を聴講】

3) 営振協「除草剤効果実証試験」における残草調査を実施

9日、飼料作物部会で実施している「除草剤効果実証試験」における除草効果の確認を行いました。

この試験は、イタリアンライグラス作付けほ場における広葉雑草に対するハーモニーDF水和剤の除草効果を確認するもので、除草剤散布から約60日後の残草調査の結果、除草剤の効果は十分見られるという結果になりました。



【残草の調査】

4) 【美郷町】 J A日向ひむか米振興会北郷支部実績検討会が開催

22日、J A日向令和5年産普通期水稻の出荷・農産物検査結果について、等級格落ち原因と次年度対策を含めた検討会が行われました。

特に、8月の出穂期前後におけるヒノヒカリの品質低下対策について、J Aや普及センター、資材メーカーよりデータに基づく詳しい説明や対策提案がなされました。

部会員の方々には、今回得た情報をもとに6年産栽培に向け改善対策実践を期待したいところです。



【JA指導員からの提案】

5) 【日向市・門川町・美郷町】冬春きゅうり戸別巡回が開催

23日、管内全域において、生産者8名、関係機関3名が参加し、冬春きゅうり戸別巡回が行われました。

今作は気温の急激な変化にで、ヤケや節間の詰まりの発生が多く、温度や湿度管理等に悩む生産者もいました。

種苗会社からは品種ごとの細かい管理方法について助言があり、普及センターからは気象情報について共有を行いました。

今後も定期的な巡回を行って、収量向上に農業者や関係機関が一体となって取り組んでいきます。



【ハウスでの巡回指導】

6) 【日向市・門川町・美郷町】スナッフえんどうの資材講習会が開催

18日、JA日向門川支店において、生産者8名、関係者5が参加し、資材講習会が開催されました。

講習会では農薬メーカー、資材メーカーから商品の特徴や活用方法について紹介がありました。

普及センターからは、高温注意報や発生が目立つ病害虫の情報について共有を行いました。

今後も定期的にはほ場巡回を開催し、収量、品質の向上を支援していきます。



【講習会の様子】

7) 【諸塚村】夏秋ミニトマトのR6年産作付け前面談を実施

26日、JA日向諸塚支店において、生産者8名、関係者3が参加し、令和6年産作付け前面談が開催されました。

面談では前作の振り返りを行い令和6年産に向けての改善点の共有が図るとともに、作付け品種の決定が行われました。

次年度は、新品種の試験栽培に取り組むこととしています。また、新規栽培者もいることから、継続的に支援していきます。



【個別面談】

8) 【日向市、諸塚村、美郷町】 きんかん海外市場調査を実施

23～27日、香港及び台湾にて、生産者3名、関係者6名が参加し、海外市場調査を行いました。

香港では、鹿児島産や中国産きんかんの食味比較や量販店での販売状況調査を行いました。

台湾では高級ホテルでのマスコミ向けPRイベントに参加し、量販店での販売状況調査を行いました。

香港では鹿児島産が多く、宮崎産はほとんど取扱がないこと、台湾でも宮崎産の取扱は少ないことが分かりました。

台湾での販路拡大に向けて商談が行われており、引き続き輸出に対応できる産地の取組を進めていきたいと考えています。



【ホテルでのPRイベント】